

支那事變彙報

自昭和十三年一月
至同年五月

国立公文書館

分類

排架番号

2 A

39-6

情 23

目次 (二十七号)

○帝國政府聲明(昭和十三年一月十六日)、
 ○伊國「フアシスト」黨代表特派ニ關スル外務省發表(昭和十三年一月十二日)、
 ○工部局問題ト英、米、支紙、
 ○米紙ニ表ハレタ事變相、
 ○其ノ他

△羅馬協定三國會議、
 (1) 羅馬協定第二回第三國會議開催サル
 (2) 右ニ關スル伊紙評

△聯盟、
 理事會ハ一月廿六日ニ延期ノ筈

△米國、
 (1) 下院ハ「ルドロー」憲法修正案上提ヲ否決
 (2) 在支權益ニ關スル「ハル」長官ノ回答書

○米紙ノ「不承認政策」論
 △蘇聯邦、、、、、、
 (1) 蘇聯最高「ソヴイエト」第一回會議開催
 (2) 民族會議ハ外交委員會設置ヲ可決
 (3) 聯邦會議モ外交委員會設置ヲ可決
 (4) 外交委員會設置提案ノ説明(聯邦會議)
 (5) 聯邦及民族合同會議開催
 △一束、、、、、、
 (1) 米國巡洋艦參加其ノ他
 (2) 佛內閣瓦解
 (3) 右ニ關スル英紙評
 (4) 國民政府ノ異動

○米紙ノ「不承認政策」論
 △蘇聯邦、、、、、、
 (1) 蘇聯最高「ソヴイエト」第一回會議開催
 (2) 民族會議ハ外交委員會設置ヲ可決
 (3) 聯邦會議モ外交委員會設置ヲ可決
 (4) 外交委員會設置提案ノ説明(聯邦會議)
 (5) 聯邦及民族合同會議開催
 △一束、、、、、、
 (1) 米國巡洋艦參加其ノ他
 (2) 佛內閣瓦解
 (3) 右ニ關スル英紙評
 (4) 國民政府ノ異動

目次 (二十八頁)

- 獨逸國政府ヲ仲介トスル日支和平交渉ニ關スル外務當局談 (昭和十三年一月十九日) 一
- 一月十六日帝國政府聲明後ニ於ケル支那外交機關ノ地位ニ關スル情報部長談 (昭和十三年一月二十一日) 二
- 在滿洲、哈府及「ブラゴヴェシチエンスク」帝國總領事館ニ對スル「ソ」側官憲ノ不當措置ニ關スル外務當局談 (昭和十三年一月十六日) 三
- 蘇領内ニ拘禁中ノ邦人解放要求ニ關スル外務當局談 (昭和十三年一月十九日) 六
- 其ノ他
 - △支那、、、七
 - (1) 臨時政府救濟ニ乘リ出ス
 - (2) 臨時政府ノ布告
 - (3) 臨時政府當局談
- △一東、、、二八
- (B) 臨時政府救濟委員會報告書
- (C) 臨時政府救濟委員會報告書
- (D) 臨時政府救濟委員會報告書
- (E) 臨時政府救濟委員會報告書
- (F) 臨時政府救濟委員會報告書
- (G) 臨時政府救濟委員會報告書
- (H) 臨時政府救濟委員會報告書
- (I) 臨時政府救濟委員會報告書
- (J) 臨時政府救濟委員會報告書
- (K) 臨時政府救濟委員會報告書
- (L) 臨時政府救濟委員會報告書
- (M) 臨時政府救濟委員會報告書
- (N) 臨時政府救濟委員會報告書
- (O) 臨時政府救濟委員會報告書
- (P) 臨時政府救濟委員會報告書
- (Q) 臨時政府救濟委員會報告書
- (R) 臨時政府救濟委員會報告書
- (S) 臨時政府救濟委員會報告書
- (T) 臨時政府救濟委員會報告書
- (U) 臨時政府救濟委員會報告書
- (V) 臨時政府救濟委員會報告書
- (W) 臨時政府救濟委員會報告書
- (X) 臨時政府救濟委員會報告書
- (Y) 臨時政府救濟委員會報告書
- (Z) 臨時政府救濟委員會報告書

(8) 高野英打電報
(9) 高野英打入帝書
(10) 高野英打電報ニ答フ書
△支那ノ新憲法ノ問題
○ 國庫十五年度ニ對シテ其ノ預算
○ 通商手続ノ改善中ノ諸人種
○ 通商手続ノ改善中ノ諸人種ニ關スル我領内事情
○ 通商手続ノ改善中ノ諸人種ニ關スル我領内事情
○ 通商手続ノ改善中ノ諸人種ニ關スル我領内事情
○ 通商手続ノ改善中ノ諸人種ニ關スル我領内事情
○ 通商手続ノ改善中ノ諸人種ニ關スル我領内事情
○ 通商手続ノ改善中ノ諸人種ニ關スル我領内事情

△蘇聯邦、
聯邦民族合同會議ノ經過
△佛 國、
「シヨータン」復々組閣
△土耳其古、
蘇聯ノ領事館閉鎖方申出
△伯 國、
(1) 大統領ノ施政ニ關スル全歐放送
(2) 新憲法移民制限ニ關スル伯國各紙評
△比 島、
「ダバオ」土地問題ニ關スル新聞紙評

一、本誌の発行目的及び趣旨 二六

△ 近世史の発展 二七

△ 近世史の発展 二七

△ 近世史の発展 二七

(4) 大正時代の国際関係 二八

△ 近世史の発展 二七

△ 近世史の発展 二七

△ 近世史の発展 二七

△ 近世史の発展 二七

△ 近世史の発展 二七

△ 近世史の発展 二七

△ 近世史の発展 二七

△ 近世史の発展 二七

△ 近世史の発展 二七

△ 近世史の発展 二七

目

次

三十号

○ 聯盟理事會ノ經過、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、一

○ 獨逸ノ政變ト各國ノ論調、、、、、、、、、、、、、、、、、、九

○ 米英兩國ノ議會討議ノ經過、、、、、、、、、、、、、、、、、一二

○ 米國海軍擴張案ト英米ノ輿論、、、、、、、、、、、、、、、、、一七

○ 聯盟理事會ト各國ノ論調、、、、、、、、、、、、、、、、、二四

○ 日支問題ト各國ノ論評、、、、、、、、、、、、、、、、、二九

○ 日英海軍協定に關する論議、二八

○ 海軍擴張問題に關する論議、二九

○ 海軍擴張問題に關する論議、三〇

○ 海軍擴張問題に關する論議、三一

○ 海軍擴張問題に關する論議、三二

○ 海軍擴張問題に關する論議、三三

○ 海軍擴張問題に關する論議、三四

○ 海軍擴張問題に關する論議、三五

○ 海軍擴張問題に關する論議、三六

○ 海軍擴張問題に關する論議、三七

○ 海軍擴張問題に關する論議、三八

○ 海軍擴張問題に關する論議、三九

○ 海軍擴張問題に關する論議、四〇

○ 海軍擴張問題に關する論議、四一

○ 海軍擴張問題に關する論議、四二

○ 海軍擴張問題に關する論議、四三

○ 海軍擴張問題に關する論議、四四

○ 海軍擴張問題に關する論議、四五

○ 海軍擴張問題に關する論議、四六

○ 海軍擴張問題に關する論議、四七

○ 海軍擴張問題に關する論議、四八

○ 海軍擴張問題に關する論議、四九

○ 海軍擴張問題に關する論議、五〇

○ 海軍擴張問題に關する論議、五一

○ 海軍擴張問題に關する論議、五二

○ 海軍擴張問題に關する論議、五三

○ 海軍擴張問題に關する論議、五四

○ 海軍擴張問題に關する論議、五五

○ 海軍擴張問題に關する論議、五六

○ 海軍擴張問題に關する論議、五七

○ 海軍擴張問題に關する論議、五八

○ 海軍擴張問題に關する論議、五九

○ 海軍擴張問題に關する論議、六〇

○ 海軍擴張問題に關する論議、六一

○ 海軍擴張問題に關する論議、六二

○ 海軍擴張問題に關する論議、六三

○ 海軍擴張問題に關する論議、六四

○ 海軍擴張問題に關する論議、六五

○ 海軍擴張問題に關する論議、六六

○ 海軍擴張問題に關する論議、六七

○ 海軍擴張問題に關する論議、六八

○ 海軍擴張問題に關する論議、六九

○ 海軍擴張問題に關する論議、七〇

○ 海軍擴張問題に關する論議、七一

○ 海軍擴張問題に關する論議、七二

○ 海軍擴張問題に關する論議、七三

○ 海軍擴張問題に關する論議、七四

○ 海軍擴張問題に關する論議、七五

○ 海軍擴張問題に關する論議、七六

○ 海軍擴張問題に關する論議、七七

○ 海軍擴張問題に關する論議、七八

○ 海軍擴張問題に關する論議、七九

○ 海軍擴張問題に關する論議、八〇

○ 海軍擴張問題に關する論議、八一

○ 海軍擴張問題に關する論議、八二

○ 海軍擴張問題に關する論議、八三

○ 海軍擴張問題に關する論議、八四

○ 海軍擴張問題に關する論議、八五

○ 海軍擴張問題に關する論議、八六

○ 海軍擴張問題に關する論議、八七

○ 海軍擴張問題に關する論議、八八

○ 海軍擴張問題に關する論議、八九

○ 海軍擴張問題に關する論議、九〇

○ 海軍擴張問題に關する論議、九一

○ 海軍擴張問題に關する論議、九二

○ 海軍擴張問題に關する論議、九三

○ 海軍擴張問題に關する論議、九四

○ 海軍擴張問題に關する論議、九五

○ 海軍擴張問題に關する論議、九六

○ 海軍擴張問題に關する論議、九七

○ 海軍擴張問題に關する論議、九八

○ 海軍擴張問題に關する論議、九九

○ 海軍擴張問題に關する論議、一〇〇

目次

31 目次 (三十一頁)

○ 帝國軍隊ノ行動ニ關スル米國政府申出ニ對スル、一

帝國政府回答ニ關スル外務當局談

○ 回答全文、二

○ 建艦問題ニ關スル英國大使書翰(假譯)、三

○ 海軍問題ニ關スル米國大使申入レニ關スル書翰(假譯)、六

○ 建艦問題ニ關スル佛國大使書翰(假譯)、九

○ 建艦問題ニ關スル帝國政府ノ對英米佛回答、一二

○ 建艦通報ニ關スル英米佛ノ通報回答ト政府聲明、一五

○ 獨逸ノ政變ト各國ノ論調、一八

○ 海軍擴張問題ト米英下院、二八

○ 「ブアニコ」失踪事件ト蘇聯「ルーマニア」關係、三四

○ 伯國新移民法ト新聞論評、三八

○ 米海軍擴張ト對日通牒ニ關スル米英伊ノ輿論、四三

○ 一般重要問題一東(米國、濠洲)、五二

○ 伊蘭問題 二 伊蘭 二 六三
○ LINAC 二 六四
○ 薩摩島ノ入港 二 六五
○ 薩摩島ノ入港 二 六六
○ 薩摩島ノ入港 二 六七
○ 薩摩島ノ入港 二 六八
○ 薩摩島ノ入港 二 六九
○ 薩摩島ノ入港 二 七〇
○ 薩摩島ノ入港 二 七一
○ 薩摩島ノ入港 二 七二
○ 薩摩島ノ入港 二 七三
○ 薩摩島ノ入港 二 七四
○ 薩摩島ノ入港 二 七五
○ 薩摩島ノ入港 二 七六
○ 薩摩島ノ入港 二 七七
○ 薩摩島ノ入港 二 七八
○ 薩摩島ノ入港 二 七九
○ 薩摩島ノ入港 二 八〇
○ 薩摩島ノ入港 二 八一
○ 薩摩島ノ入港 二 八二
○ 薩摩島ノ入港 二 八三
○ 薩摩島ノ入港 二 八四
○ 薩摩島ノ入港 二 八五
○ 薩摩島ノ入港 二 八六
○ 薩摩島ノ入港 二 八七
○ 薩摩島ノ入港 二 八八
○ 薩摩島ノ入港 二 八九
○ 薩摩島ノ入港 二 九〇
○ 薩摩島ノ入港 二 九一
○ 薩摩島ノ入港 二 九二
○ 薩摩島ノ入港 二 九三
○ 薩摩島ノ入港 二 九四
○ 薩摩島ノ入港 二 九五
○ 薩摩島ノ入港 二 九六
○ 薩摩島ノ入港 二 九七
○ 薩摩島ノ入港 二 九八
○ 薩摩島ノ入港 二 九九
○ 薩摩島ノ入港 二 一〇〇

目次 三十三号

- 獨伊兩國ニ學生親善武遣使節派遣 昭和十三年二月二十七日、、、一
- 英外相辭職ノ經緯、英伊交渉ニ關スル各國輿論、、四
- 「ヒトラー」議會演説、埃首相演説ニ關スル各國ノ反響、、三五
- 建艦問題ヲ終ル各國ノ論調、、、五九
- 東京「オリムピック」大會問題ヲ終ル各國輿論、、、六四
- 一般重要記事 一、、、、、、、、、六七

一、一九三九年九月三日、東京に於て、日、英、米、中、ソ、印、露、の八國代表會議が開かれた。この會議は、第二次世界大戦の勃発後、初めて開かれた国際會議である。この會議は、八月三十一日、九月一日、二日、三日の四日間、東京の皇宮内閣會議場で行われた。この會議は、八月三十一日、九月一日、二日、三日の四日間、東京の皇宮内閣會議場で行われた。この會議は、八月三十一日、九月一日、二日、三日の四日間、東京の皇宮内閣會議場で行われた。

目次

目次 三十四頁

- 日支事變ト各國ノ論評……………一
- 反蔣除謀裁判ト各國ノ批評……………一四
- 第五回「バルカン」協商理事會ノ結果……………二〇
- 一般重要問題一束……………二五

目次

三十五

- 獨逸關係ト各國ノ輿論
- 支那學變ト各國ノ輿論
- 海軍擴張問題ト各國ノ批評
- 英國下院ニ於ケル討議
- 反蘇陰謀裁判ト各國ノ批評
- 太平洋局勢所關問題
- 比島獨立延期間題ト米比
- 一般重要記事一束

一
一七
二六
三五
三九
四六
五一
五四

○ 獨逸關係ト各國ノ輿論
 ○ 支那學變ト各國ノ輿論
 ○ 海軍擴張問題ト各國ノ批評
 ○ 英國下院ニ於ケル討議
 ○ 反蘇陰謀裁判ト各國ノ批評
 ○ 太平洋局勢所關問題
 ○ 比島獨立延期間題ト米比
 ○ 一般重要記事一束

○ 一歩の進歩を期すべし、
 ○ 北支事變の進展を期すべし、
 ○ 日支事變の進展を期すべし、
 ○ 日支事變の進展を期すべし、

目次 三十七

「パネー」號事件損害補償金ニ關スル外務省發表
 (昭和十三年三月二十三日) 、 、 、 、 、 一

北鐵代償金支拂差控問題ニ關スル外務當局談
 (昭和十三年三月二十七日) 、 、 、 、 、 三

日支事變ト各國ノ論評、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 五

英首相ノ外交、再軍備演説ト各國ノ反響、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 一〇

獨逸合邦ト各國ノ輿論、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 二三

獨逸避難民救濟國際委員會、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 四六

「ハル」國務長官ノ外交演説ト反響、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 四九

波蘭「リスアニア」紛争解決ス、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 五四

一般重要問題一束、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 五九

○ 支那問題の發展と東洋の平和 二
○ 支那の現代史と東洋の平和 一五
○ 支那の現代史と東洋の平和 二七
○ 支那の現代史と東洋の平和 三六
○ 支那の現代史と東洋の平和 四三
○ 支那の現代史と東洋の平和 五二
○ 支那の現代史と東洋の平和 六一
○ 支那の現代史と東洋の平和 七〇
○ 支那の現代史と東洋の平和 七八
○ 支那の現代史と東洋の平和 八七
○ 支那の現代史と東洋の平和 九六
○ 支那の現代史と東洋の平和 一〇五
○ 支那の現代史と東洋の平和 一一四

目次 (三十九頁)

- 日「ソ」領事館問題ニ關スル外務當局談（昭和十三年四月十二日）、一
 - 日支事變ト各國ノ論評、一
 - 海軍擴張問題ト英米師、一
 - 獨逸合併ノ餘波、一
 - 一般重要問題一覽、一
- 米國、獨逸、英國、佛國、蘇聯、ポーランド、
アイルランド、チリ、フィリッピン

目次

- 一、米 國
- 二、米 國
- 三、英 國
- 日支和平交渉説ニ對スル情報部長談（四月十三日）
- 日「ソ」領事館閉鎖問題ニ關スル外務當局談（四月十五日）
- 日支事變卜各國ノ論評
- 日支事變卜各國ノ論評
- 日支事變卜各國ノ論評
- 日支事變卜各國ノ論評
- 日支事變卜各國ノ論評
- 日支事變卜各國ノ論評
- 日支事變卜各國ノ論評

目次

40 目次 四十号

○ 日支和平交渉説ニ對スル情報部長談（四月十三日）

○ 日「ソ」領事館閉鎖問題ニ關スル外務當局談（四月十五日）

○ 日支事變卜各國ノ論評

1、支 那

2、米 國

3、英 國

○ 一般重要問題一束

(1) 米 國

- △ 政府信用回復ニ萬策
- △ 大統領ノ不景氣打開策
- △ 米内海相領艦計畫否定
- △ 上院軍費案 下院案ヨリ増加
- △ 米比特惠關稅制度延長ノ背後

(2) 英 國

- △三國海軍専門家初會合
- △「エチオピア」承認下院
- (3) 獨逸、
△國民投票ノ結果發表
- △在埃支那公使館廢止
- (4) 佛 國、
△新内閣ニ絶對期待
- △國防因經濟再建ノ新法案
- △財政法案二院ニ可決
- △「キエツコ」交授ハ佛ノ自決行爲
- (5) 蘇聯、
△日本機參聯領ニ不時着
- △抑留船長下日本ノ取調
- △輕工業人民委員部ノ責任
- △農村ノ租稅納入實績不良

海軍専門家初會合
エチオピア承認
國民投票結果發表
在埃支那公使館廢止
新内閣ニ絶對期待
國防經濟再建新法案
財政法案二院可決
「キエツコ」交授ハ佛ノ自決行爲
蘇聯不時着
日本機參聯領
抑留船長下日本ノ取調
輕工業人民委員部ノ責任
農村ノ租稅納入實績不良

- △本年度經濟工業生産計畫
- △昨年度原油採取実績不良
- (6) ボーランド、、、、、三六
- △波蘭ノ對「チエツコ」態度
- (7) スイス、、、、、三六
- △「エチオピア」問題ノ理事會上程ヲ要求
- (8) 蘭印、、、、、三七
- △濠洲蘭印ノ親善關係
- △濠洲蘭印ノ兩總督交馳
- △蘭印比島航空路開設ト日本
- (9) シンガポール、、、、、四二
- △濠洲總督蘭印訪問ノ使命
- △爲替清算協定問題
- (10) エヂプト、、、、、四三
- △全國總選舉ノ公表
- (11) ブラヂル、、、、、四四
- △南米ABC諸國外交首腦ノ會談

(3) 伊 國、、、、、、、、、、、、、三、三一頁

△佛伊交渉ハ英佛會商ノ序幕

(4) スイス、、、、、、、、、、、、三三三頁

△五月理事會ヘノ上程要求

(5) 蘇 聯、、、、、、、、、、三三四頁

△在蘇芬蘭領事館閉鎖

△各共和國最高會議ノ選舉日

△鐵道運輸業績不振

△極東軍政治部長新任

(6) スペイン(フランクフルト)、、、、、、三六頁

△「フランクフルト」將軍ノ反共演説

(7) ファイリツピン、、、、、、三九頁

△國籍不明艦船ノ出現

三式頁

△現行會社法修正案議會へ

△日本ノ「ダンピング」ハ有害

△緬甸雲南間自動車道路

△ブラジル、

△米州國民結合ノ保障

△大統領、記者團ニ施政方針聲明

△現行會社法修正案議會へ

(8) 蘭 印、

△日本ノ「ダンピング」ハ有害

(9) ビルマ

△緬甸雲南間自動車道路

(10) ブラジル、

△米州國民結合ノ保障

△大統領、記者團ニ施政方針聲明

○ 共産分子但馬丸ノ爆破企圖事件ニ關スル情報部長談話

(昭和十三年五月三日) 一

○ 支那海關問題ニ關スル帝國政府發表(昭和十三年五月三日) 二

○ 支那專使ト各國ノ論評 四

(1) 支那

(2) 米國

(3) 佛國

○ 英伊協定締結ト各國ノ反響 九

(1) 支那

(2) 獨逸

(3) 英國

(4) 蘇聯

○ 一般重要問題一覽

(1) 米國 十五

△ 「ボシー」ノ海軍擴張反響論

△ 米海軍新主力艦ハ九隻

△ 條約違反國ニ對スル米ノ態度

	△三航運根據地新設	十八
(2)	英國	十八
	△一九三八年年度豫算	
	△英愛協定ノ内容	
(3)	獨逸	二十二
	△三月貿易總額	
(4)	「チエツコ・スロヴァキア」	二十二
	△「ズデーテン」黨ノ八要求	
(5)	蘇聯	二十五
	△「メーデー」参加各國代表	
	△農村ノ施療改善	
	△農作不良ノ原因	
	△聯邦共和國ノ選舉	
(6)	「ポーランド」	二十八
	△英波海軍協定	
	△蘇聯ノ態度評價ハ慎重ニ	

(7)	「スイス」	△中立性ニ關スル政府覺書	三十一
(8)	「ポルトガル」	△「フランコ」政權承認カ	三十二
(9)	「フィリッピン」	△怪艦船ニ關スル新法案ヲ議會ヘ △日本軍艦又出現カ △獨立反對論者ノ常套手段カ	三十二
(10)	濠洲	△新國防計畫ノ全貌	三十五
(11)	「ブラジル」	△國籍、歸化ノ新法律公布	三十八

(1) 濠洲
 (2) 濠洲
 (3) 濠洲
 (4) 濠洲
 (5) 濠洲
 (6) 濠洲
 (7) 濠洲
 (8) 濠洲
 (9) 濠洲
 (10) 濠洲
 (11) 濠洲
 (12) 濠洲
 (13) 濠洲
 (14) 濠洲
 (15) 濠洲
 (16) 濠洲
 (17) 濠洲
 (18) 濠洲
 (19) 濠洲
 (20) 濠洲
 (21) 濠洲
 (22) 濠洲
 (23) 濠洲
 (24) 濠洲
 (25) 濠洲
 (26) 濠洲
 (27) 濠洲
 (28) 濠洲
 (29) 濠洲
 (30) 濠洲
 (31) 濠洲
 (32) 濠洲
 (33) 濠洲
 (34) 濠洲
 (35) 濠洲
 (36) 濠洲
 (37) 濠洲
 (38) 濠洲
 (39) 濠洲
 (40) 濠洲
 (41) 濠洲
 (42) 濠洲
 (43) 濠洲
 (44) 濠洲
 (45) 濠洲
 (46) 濠洲
 (47) 濠洲
 (48) 濠洲
 (49) 濠洲
 (50) 濠洲
 (51) 濠洲
 (52) 濠洲
 (53) 濠洲
 (54) 濠洲
 (55) 濠洲
 (56) 濠洲
 (57) 濠洲
 (58) 濠洲
 (59) 濠洲
 (60) 濠洲
 (61) 濠洲
 (62) 濠洲
 (63) 濠洲
 (64) 濠洲
 (65) 濠洲
 (66) 濠洲
 (67) 濠洲
 (68) 濠洲
 (69) 濠洲
 (70) 濠洲
 (71) 濠洲
 (72) 濠洲
 (73) 濠洲
 (74) 濠洲
 (75) 濠洲
 (76) 濠洲
 (77) 濠洲
 (78) 濠洲
 (79) 濠洲
 (80) 濠洲
 (81) 濠洲
 (82) 濠洲
 (83) 濠洲
 (84) 濠洲
 (85) 濠洲
 (86) 濠洲
 (87) 濠洲
 (88) 濠洲
 (89) 濠洲
 (90) 濠洲
 (91) 濠洲
 (92) 濠洲
 (93) 濠洲
 (94) 濠洲
 (95) 濠洲
 (96) 濠洲
 (97) 濠洲
 (98) 濠洲
 (99) 濠洲
 (100) 濠洲

目次

四十三頁

○「ソ」聯ノ對支援助ニ關スル外務當局談

(昭和十三年五月三日) 、、、、一頁

○日「ソ」諸懸案交渉經過ニ關スル外務當局談

(昭和十三年五月五日) 、、、、五頁

○支那事變ト各國ノ論評

- (1) 支那
- (2) 米 國
- (3) 英 國
- (4) 蘇 聯
- (5) スイス
- (1) 獨逸
- (2) 英 國
- (3) 佛 國
- (4) 伊 國

○英伊、英佛、獨伊關係ト各國ノ反響、、、、二五頁

(1) 支那事變ト各國ノ論評

(2) 米 國

(3) 英 國

(4) 蘇 聯

(5) スイス

(1) 獨逸

(2) 英 國

(3) 佛 國

(4) 伊 國

○支那事變ト各國ノ論評

○日「ソ」諸懸案交渉經過ニ關スル外務當局談

○「ソ」聯ノ對支援助ニ關スル外務當局談

○英伊、英佛、獨伊關係ト各國ノ反響

○ 一般重要問題一覽

(1) 米

△ 太平洋ノ航空施設ハ平和ノ保障

△ 馬鹿ケタ「メーデー」メツセージ

△ 對獨武器輸出ト米ノ立場

△ 海軍擴張法案修正案

△ 海軍擴張案可決サル

△ 愛蘭法案ト英愛關係

△ 爲替比價引下ノ流説否定

△ 「コミンテルン」ノ「メーデー」徴文

(2) 英

(3) 蘇

△ 爲替比價引下ノ流説否定

△ 「コミンテルン」ノ「メーデー」徴文

(4) 日

(5) 蘇 聯

(6) ボーランド

(7) フィンランド

(8) アルゼンチン

○ 一般重要問題一覽

△「チリ」ノ親善
△「チリ」ノ諸問題

△「トルコ」ノ親善
△「トルコ」ノ諸問題

△「ギリシヤ」ノ親善
△「ギリシヤ」ノ諸問題

△「モントル」ノ親善
△「モントル」ノ諸問題

△「アルゼンチン」ノ親善
△「アルゼンチン」ノ諸問題

△「チリ」ノ親善
△「チリ」ノ諸問題

- (4) フイリツピン、五四頁
△外人ノ土地讓渡禁止問題
- (5) 濠洲、五四頁
△關稅改正ノ內容詳報
- (6) トルコ、五六頁
△「ギリシヤ」「トルコ」ノ親善
△伊國「モントル」條約加入
- (7) コロンビア、五七頁
△新大統領就任
- (8) チリ、五七頁
△「チリ」ノ親善
△「チリ」ノ諸問題

昭和十三年一月十八日
週刊時報第六十三號

支那事變彙報

(27)

外務省情報部

昭和十三年一月十六日

支那の発展

支那の発展

帝國政府聲明

(昭和十三年一月十六日)

帝國政府ハ南京攻略後尙ホ支那國民政府ノ反省ニ最後ノ機會ヲ與
ルタメ今日ニ及ヘリ然ルニ國民政府ハ帝國ノ眞意ヲ解セス漫リニ抗
戰ヲ策シ内民人 塗炭ノ苦ミヲ察セス外東亞全局ノ和平ヲ顧ミル所
ナシ仍テ帝國政府ハ爾後國民政府ヲ對手トセス帝國ト眞ニ提携スル
ニ足ル新興支那政權ノ成立發展ヲ期待シ是ト兩國國交ヲ調整シテ更
生新支那ノ建設ニ協力セントス元ヨリ帝國カ支那ノ領土及主權並ニ
在支列國ノ權益ヲ尊重スルノ方針ニハ毫モカハル所ナシ
今ヤ東亞和平ニ對スル帝國ノ責任愈々重シ
政府ハ國民カ此ノ重大ナル任務遂行ノタメ一層ノ發奮ヲ冀望シテ止
マス